

光市都市再生推進協議会 第4回会議 議事録

日時：平成30年7月4日（水）10:00～11:30

会場：光市役所3階 大会議室1・2号

【出席者】

委員：12人（代理出席者1人を含む。欠席1人）、

オブザーバー：2人、

事務局：6人

【内容】

開会

1 会長あいさつ

皆さん、改めましておはようございます。

第4回の協議会であるが、本日もどうぞよろしく願います。

少し話題を提供させていただく。一昨日までアメリカのポートランド、60万人ぐらいの都市に出張していた。そのポートランドシティは20年ぐらい前から持続可能な都市をつくるということで、都市形態としてコンパクトシティをずっと考えてきた都市である。その結果、「世界一住みたいまち」という本が出版されているし、少なくとも全米一住みたいまちと評価を与えられているような都市である。

ポートランドシティの特徴は、都市機能を拠点にどのように集めていくかということと、どういうふうに公共交通とセットで考えていくかということが非常にうまく議論されているということ。そして、もう1つは、ネイバーフットアソシエーションという住民ベースの協議が非常に綿密に行われ、住民と行政が常に車の両輪のように議論をしながら進めている都市で、結果としてよい方向に向かっているということである。

また、本日、光市の都市機能誘導区域について事務局から提案があると思うが、ぜひ従前の協議も含めて、公共交通も含めて皆さんのほうからご意見を賜りたいと思っている。

どうぞよろしく願います。

2 委員及びオブザーバーの紹介

前回の会議以降に就任した委員及びオブザーバーを事務局から紹介

3 議事

(1) 都市づくりの基本的な方向性について

事務局から資料に沿って議題説明ののち、質疑応答等

● 議長

確認の意味を込めて、私のほうから質問を1つ。

島田市地区に関して、光駅周辺地区に比べると少し評価は低いですが、それを一体的に進めたいということであるが、その考え方の大きなところはなにか。大きなプロジェクトを控えているなど、もう少し具体的にご説明いただきたい。

● 事務局

評価結果の図では、評価が高いところが、光駅周辺から国道188号沿いに島田市まで延びている。これは、光市の特性で国道188号に強く依存したまちが形成されているのだが、こうした状況を踏まえ、これから人口減少が進む中で都市づくりを考えていくうえで、財政規模など厳しい状況もあり、新たなものを一から創り上げていくよりも、これまで以上に、既存のストックを有効的に活用しながら賢く都市づくりを進めていく必要があると考えている。そのため、島田市地区については、光駅周辺地区と連続して拠点づくりを進めていく考え方を示した。

具体の事業やプロジェクトといったようなことよりも、国道188号沿い一体に都市が形成されており、今後もこのエリアでの拠点性を高めていこうという考えを示したもの。

● 議長

人口減少で財政が厳しい中、拠点をもう少しコンパクトに指定したほうが、財政負担に対しては効果的ではないか。もう少しコンパクトに指定する方が、これからのトレンドとして正解ではないかと思うが、そこをあえて膨らませようとする意味をもう少し具体的に教えていただきたい。

● 事務局

光駅前から島田市の交差点まで物理的な距離が約2kmということもあり、よりコンパクトにという考えもあるとは思いますが、将来の都市づくり、姿をイメージしていく中で光駅周辺や島田市あたりまでを含めた拠点ということを考えている。

● 議長

島田市までを一体的に拠点化するならば、財政投資もかかるし、人口をそこに貼り付けられる施策をうたないといけない。それが果たして担保で

きるのかということ議論しておかないといけない。

- 委員

島田市までを含めた光駅を大きな都市機能にする必要があるのか。

- 議長

テーマが次の議題に移りつつあるが、拠点としての方向性を考えていくうえでは、ある程度整理しておかないといけない。これは保留にしておく。

- 委員

福祉側の立場での視点になるが、医療施設がポイントかと思った。光駅、島田市ともに都市機能の集積が◎で、その辺を上手にアクセス等に力を入れていくという意味合いであれば一つかなと思った。

- 事務局

医療施設、高齢者福祉施設、商業施設について、光駅から国道 188 号沿いに島田市のあたりまで施設が集中しており、光駅周辺から国道 188 号沿いに島田市まで、一体の都市機能が集中しているといったような考え方を持っている。

- 委員

子育て支援施設はどのように評価されているのか。

- 事務局

第 2 回の会議で、保育所、幼稚園等の分布を示した。

数値化にあたっては、都市機能の中でも最も生活に身近だと思われる商業施設と、今後、高齢化により必要性が高まるとと思われる医療施設、福祉施設を評価の対象とした。

- オブザーバー

評価について、都市機能誘導区域に必要な項目と、居住誘導区域に必要な項目があり、一緒くたにして総合点で整理してしまうと説明が難しくなると思う。また、災害安全性について、個人的には影響が一番大きいのではないかと思う。

島田市をエリアに入りたいのであれば、例えば医療施設が重要になるのでこのエリアも都市機能誘導区域に入れるとか、そういう説明をしてもいいのではないか。総合的に扱うと議論が沸騰してしまう。

- 議長

そもそもの評価のやり方をもう少し、ある意味戦略的にというか、評価

の考え方を市の政策なりを見据えて考えていったほうが、やりたいことと結果の整合性がはかれるのではないかと指摘である。

- 事務局
ご指摘をふまえてしっかり準備をさせていただく。

(2) 都市機能誘導区域について

事務局から資料に沿って議題説明ののち、質疑応答等

- 委員
少し分からなくなってきたのだが、8つの拠点地区の範囲はどこからどこまでか。
- 事務局
それぞれの拠点地区の範囲は明確なものはない。
- 委員
資料1-2で、拠点地区ごとで評価したが、エリアを定めずに、そのエリアの点数を決めていたのは何の意味があったのか。
- 事務局
資料1-2の表は、それぞれの周辺で最も評価の高かった1つのメッシュの評価を抜き出したもの。
図だけで見ると、表の方が端的に結果をつかんでいただけるという意味合いで、示している。
- 議長
具体的な数値のところは、平均点ではなく最高得点のメッシュの値が入っており、エリアを決めなくても電子的なメッシュの分布でその特徴を可視化しているということである。
- オブザーバー
私も少し勘違いをしており、評価を基に区域を考えていくのかと思っていた。
誘導区域について、ある程度具体的な数字をもって客観的に皆さんが納得されるような形でないと、住民説明の時に難しいのかなと思うので具体的に考えていただければと思う。
- 議長
区域案の航空写真の上に100mメッシュを被せて、それを踏まえて、ここまでは都市機能誘導区域、区域設定基準に入るという説明をしていかないと、分かりにくいというご指摘だと思う。

● 事務局

先の拠点適正の評価は、誘導区域を導き出すために行ったものではなく、分野ごとに整理していた現状等を、1つ全体のマクロな視点から、ざっくり拠点としての適正という観点で見たときにどうかを、俯瞰的につかんでいただくために実施したもの。

区域の案について、具体の区域をお示しできる段階にいたっておらず、このたびはあくまでもこの評価基準のざっくりとした考え方にそって、国道188号のバス停留所から500mの範囲というものを目安にして、その端から端までの距離が光駅の方では2kmぐらい、市役所周辺であれば2km弱ぐらいのエリアを睨んで、これから具体的にエリアを考えていきたいというもの。

● オブザーバー

違いについては理解した。

どのように基準を定めるのかが気になる。きちんと説明できるように整理して欲しい。

説明があったから分かるが、メッシュの色と区域がなぜ違うのかという議論になる。誘導区域を考える時に、評価をうまく使えると説得力もあってよい。

あと、居住誘導区域を指定する際に、災害危険区域に居住を誘導するのはなかなか難しいと思うので、評価の点数からではなく、また別途お考えいただきたい。

● 議長

確認したい。

都市機能誘導区域というのは理解いただけているかということと、事務局提案の2つの都市機能誘導区域、1つは光駅から島田市まで、もう1つは市役所周辺を都市機能誘導区域に、という原案についてである。

概ね2箇所、都市機能誘導区域を指定したいということについての皆さんのご意見を賜りたい。

《特に意見なし》

● 議長

今のところ意見がないので、この都市機能誘導区域2箇所、光駅周辺と市役所周辺に誘導区域を定めるのかどうなのかということの資料を精査して、次回会議に出していただくということによろしいか。

● 議長

それでは、作業を進めていただき、スケジュールも含めて、事務局のほうで精査をしていただきたい。

もう1つ、島田市については、私もまだ理解ができていないので、説明資料もしくは市の方針なりを含めて、説明できるようにしていただきたい。

4 その他

(1) 事務局から連絡事項

ア 報告事項

5月に、光市都市計画審議会において、現状・課題や都市づくりの基本的な方向性について検討段階の資料をお示しし、審議会のご意見を求めたところ、内容については、「意見なし」との答申をいただいたことを報告させていただく。

イ 連絡事項

今後の予定について、本年度の末までに居住誘導区域の設定を含まない形で立地適正化計画を作成したいと考えている。

当面の予定としては、今月18日から26日にかけて、市内4つの会場において、市民や関係者の方の意見の聴取を目的に説明会を開催する予定。具体的な日時や会場は、チラシに記載しているとおり。

本日の会議や説明会でいただいた意見を踏まえて計画づくりを進め、年内には計画の素案をとりまとめ、パブリックコメントや法定の都市計画審議会の意見聴取などを経て、年度末を目処に計画を作成・公表してまいりたい。

なお、本協議会の次回の会議については、秋頃を考えているが、日程が決まり次第、改めてご連絡させていただく。

引き続き、ご助力等よろしく願います。